

## 農林漁業体験活動（教育ファーム）推進意見交換会概要

群馬農政事務所地域第一課

- 1 日 時 平成22年2月23日（火） 9時30分～12時00分
- 2 主 催 関東農政局群馬農政事務所 地域第一課
- 3 開催場所 渋川市役所第二庁舎 2階203会議室  
渋川市石原6-1
- 4 参加者 講 師 一之瀬 忠雄 氏  
事例報告 角田 泰弘 氏  
栗田 和巳 氏  
行政関係者 13名  
関東農政局群馬農政事務所

### 5 概 要

#### （1）基調講演

農林漁業体験活動（教育ファーム）の意義と取組を考える  
前NPO法人群馬の食文化研究会事務局長 一之瀬 忠雄 氏

#### （2）DVD上映

新学習指導要領と食育・教育ファーム  
上智大学総合人間科学部教育学科教授 奈須 正裕 氏

#### （3）事例報告

昭和村教育委員会事務局 学校教育係主任 角田 泰弘 氏  
S.S.C.ふれあいふぁ～む事務局長 栗田 和巳 氏

### 【意見交換会の内容】

#### 参加者

一之瀬先生の就業年齢のところで、人生のライフスタイル中での農業の位置づけで紹介いただいたが、教育ファームが農政に対してどの位置づけにあるのか、また、食の安全や自分で作ることなど自然との親しみを重んじる要素は十分理解できるが、最終的に農業人口の増加を目指しているのであれば幼稚園・保育園児にも農業が経済活動の一つであるということや自分の作った物が人からどのような評価を受けるのかを常に考えていなくてはならないことを教えるべきではないか。



【講演する一之瀬氏】

一之瀬氏

幼児の場合には難しい面もあるが、そこは継続・発展させていくことで保護者がどう評価するかにある。

金銭的なことを教えるには、実際に参加費を払って農業体験を行うS.S.C.の取組は効果的である。自分達で生産した物の費用等の記録を細かく取り、実際に販売されている価格と比較してみれば支払った参加費が高い、安い判断は小学生にもできる。

農家の現状は大変厳しいということも提起しながら、一般の方が知らない農業の素晴らしさを伝えて行く中で、それぞれが自分なりに考えることが重要である。



【事例紹介：昭和村 角田氏】

参加者

教育という事で取組むなら、農業が経済活動そして、生産活動であるということをしっかりやった方がよい。

一之瀬氏

消費者の低価格志向と農家の所得向上の問題は平行線であり、生産体制を整えるための多額の投資、近年の穀物価格の高騰など農家の現状は非常に厳しい。

しかし、安価な物を求める消費者が価格を上げてもいいとはなかなかならない、消費者の意識改革のためにも「教育ファーム」で農家や農村の実態を知ってもらう必要があるのではないのか。

是非、各方面の関係者に集まってもらい取組を推進してもらいたい。



【事例紹介：s.s.c. 栗田氏】

所長（S.S.C.の活動について）

実際に農業を営んでいる中で「教育ファーム」の取組みや職業としての農業と今回の活動を通じての接点はあったか。

また、農業人口の増加といった部分に結びつけていけるような感触はあったか。

栗田氏

農業者からみれば子供達の将来の選択肢に、農業がないのは非常に悲しい。実際に農業を営んでいて苦しい場面も多くあるが、それはどんな仕事も同じで若い世代で行政の補助を受けながら、農業を始め成功している事例も多くある。そのような良い面と厳しい現状もみて自分達が生きていく為に食べている物がどういうものか知ってもらいたい。子供達には、食べ

ることにより何が変わるのかを感じてもらいたい。

農業体験の記憶が将来、食のことを考えた時に自分ができることは何かを考えてくれたら嬉しい。

真剣に農業に取り組む若い世代を支える意味でも、「教育ファーム」で農業を営んで行ける部分を見せてあげることが大切ではないかと感じている。

#### 【参加者の感想】

- ・「教育ファーム」と農業経済の位置づけが明確になった。
- ・様々な事例発表があり、今後の取組の参考になった。
- ・食や農に対する意識づけに必要であることが理解できたので推進していきたい。
- ・農業に取り組むことの目的「教育ファーム」の意義を明確にしないと、教育現場ではいつまでも、きれいに代かきをした所に苗を植えるだけの作業でしかない。本日は、勉強させてもらったので次年度から参考にしたい。
- ・遊休農地を有効活用する目的でも教育部門で子供のうちから土・農業に親しむ為の「教育ファーム」は必要であると感じる。

#### 【意見・要望等】

- ・学校では、時間の確保が一番の課題である。
- ・教育的な面から子供達の生きる力を育む上でとても有効な取組であると思うが、市で統一して推進していくのは難しい。
- ・いつの時代の農政も本流の農業経済を忘れず進めてもらいたい。
- ・国全体でPR、国民の意識向上に繋げてもらいたい。



【意見交換の様子】